

今後の調査の視点等について (新嵐山スカイパークグランドデザイン／屋内遊戯施設)

1 今後の調査の視点について

「新嵐山スカイパークのグランドデザイン（全体的な構想）」の3つの機能のうち「拠点機能」に位置付けられた「屋内遊戯施設」について、町は令和7年度に基本計画を策定しようとすることから、下記項目を調査の視点として、「深掘りする」ものである。（※下記項目については、「グランドデザイン」に一定の考え方がまとめられているので、採算面や事業成果と根拠等を主眼として調査を深掘りする。）

- ① 事業対象
- ② 事業形態
- ③ 事業手法
 - ・ 施設規模、対象年齢層、設置遊具のコンセプトと具体案
 - ・ 町内既存子育て支援施設との機能整理
 - ・ 市街地等からの集客策（シャトルバス等）
- ④ 事業経費
- ⑤ 費用対効果
 - ・ 施設維持費の捻出方法
(30年間の収益見込み、指定管理者自主事業収益、民間活力活用)
 - ・ 類似施設との比較、アンケート調査を踏まえたニーズの把握、費用対効果の検証
 - ・ 集客人数目標の設定と投資規模の妥当性の検討
 - ・ 公共投資と民間収益のバランス
 - ・ 町への還元方法

2 今後の調査スケジュールについて

- | | | |
|-----|-------|---------------------------|
| (1) | 4～5月 | R7新嵐山スカイパーク再生事業スケジュール概要調査 |
| (2) | 6月 | 新嵐山スカイパーク再生事業基本構想調査 |
| (3) | 7月 | 議員研修（札幌市：北海道大学公共政策大学院） |
| (4) | 9～10月 | 新嵐山スカイパーク再生事業基本計画調査 |

3 その他

- (1) 先進地事務調査の視察時期について（今回の適否）
- (2) 先進地事務調査の視察内容について（今回の適否）